

住宅とは、住処であり、財産であり、守ってくれる場所です。

そんな住宅を集めてできた住宅街には、かつて穏やかな安定がありました。同じような背景を持った人が集まり、コミュニティを形成していましたが、昨今のミニ開発などによって、多様な人が寄り集まるようになると、互いに関わりを避けることも多くなりました。しかし一方で、変化と多様性を受け入れ、一緒に地域の祭りを盛り上げたり、タワーマンションの共用部を利用したり、積極的に新たな関係を築く例も珍しくありません。情報技術の発達に代表される技術革新によって、私たちは好きな場所を選び生活することができるようになりました。このことは、一つの住宅に暮らす家族を、夫婦+子、シングル親、単身、他人同士、大家族など多様なものに変化させるでしょう。**家族の変様**が街にもたらす多様性を歓迎し、「他者」と積極的に新しい関係を築くことによって、日常はまだまだ豊かになると私たちは考えます。

住宅とは、

新しい一日が楽しみでワクワクする場所

好きなことができる場所

好みに仕立てることができる場所

人を招くことができる場所

住民と「他者」との新しい関係を築くことができる住宅には、街に広がる多様性の中からイノベーションをもたらす可能性があります。その時の設計のあり方として、例えば、「周辺環境を魅力的にする何か」を自分の中から提供してみてはどうかと考えます。「庭の一部を、皆が通過できる通り庭にする」「窓を大きくして、道に光を落とす」「駐車場でフリマを開く」など方法は様々です。街はすぐに更新できるものではありませんが、一つの住宅の変化を見た人の中には共感し続く人も現れるでしょう。このような自発的な行動は、新たな住宅街のコミュニティを生み、街に継続性をもたらすと期待します。

住宅とは明日をつくる場所です。

今回のプロジェクトを通してその可能性をみなさんと一緒に実現していきたいです。

(796字)